

前期再編の評価

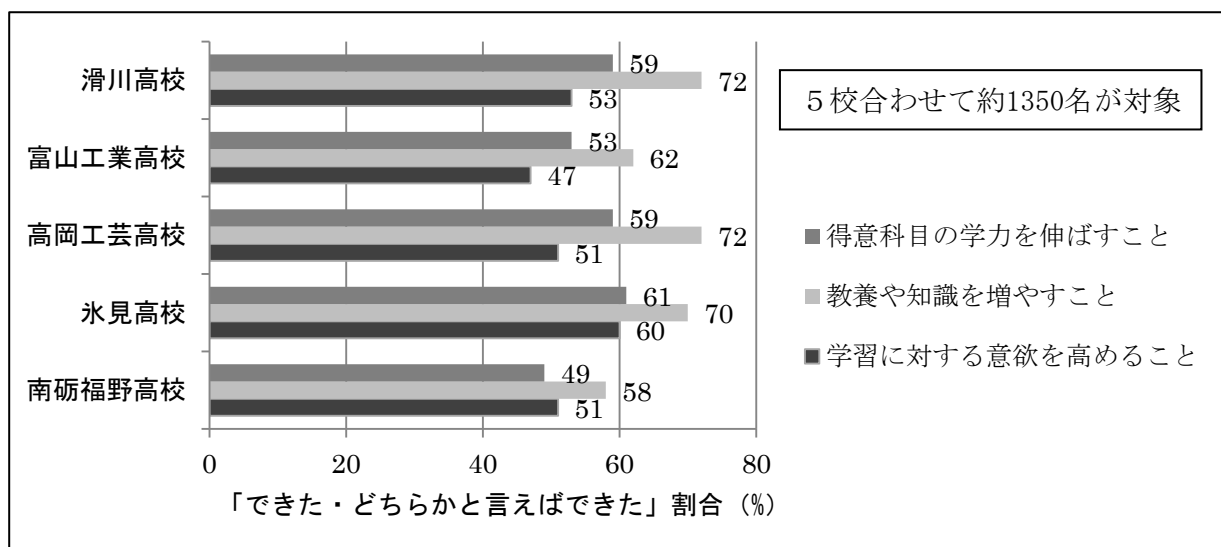
【総括的評価】

- 前期再編により、本県の全日制高校における学校規模が確保され、学習活動、学校行事、部活動の面で、生徒相互に切磋琢磨できる教育環境が整備された。
- 再編された新高校においては、統合した二つの学校の良いところを引き継ぎ、魅力ある学校づくりをすすめ、教育内容の充実が図られている。
- 総合選択制・ものづくり学などの新しい試みや地域に根ざした教育活動、新しく設置された施設設備などによって、生徒の学習意欲が向上している。
- 他学科との交流、活性化した部活動の中で、生徒の規範意識も向上している。新高校を卒業した生徒は、母校に対する誇りを持ち、地域に根ざした形で社会に出ている。

【評価の根拠】

1 教育活動の充実

<生徒対象のアンケート(H25. 11)結果より>



2 部活動の活性化

平成21年度		平成25年度	
高校名	部活動数	高校名	部活動数
海洋高校	11	滑川高校(18学級)	26
滑川高校	23		
大沢野工業高校	19	富山工業高校(24学級)	31
富山工業高校	27		
二上工業高校	16	高岡工芸高校(21学級)	30
高岡工芸高校	28		
有磯高校	17	氷見高校(21学級)	31
氷見高校	24		
南砺総合井波高校	14	南砺福野高校(21学級)	32
南砺総合福野高校	31		

3 志願状況

◎再編前(H18～21年度 一般入学者選抜)

旧学科(定員)	H18	H19	H20	H21
海洋高等学校				
海洋技術スポーツ(50)	0.62	0.38	0.60	0.83
海洋食品情報(30)	2.40	0.87	1.11	1.29
有磯高等学校				
農業科学(30)	1.43	1.00	1.68	0.52
漁業(12)	0.67	0.92	1.33	1.17
水産食品(18)	1.36	1.47	1.21	0.80
生活福祉(40)	1.68	0.96	0.86	0.70
南砺総合井波高等学校				
福祉(50)	0.94	1.27	0.81	1.41

◎再編後(H22～25年度 一般入学者選抜)

新学科(定員)	H22	H23	H24	H25
滑川高等学校				
海洋(40)	2.32	2.05	2.55	2.20
氷見高等学校				
農業科学(20)	3.64	1.67	2.42	2.00
海洋科学(20)	3.36	2.00	1.75	2.50
生活福祉(40)	2.30	1.50	1.45	1.15
南砺福野高等学校				
福祉(40)	1.52	1.45	1.00	1.13

4 中学校長の意見(新高校に多くの生徒が入学している10中学)

○中学校は新高校をどのように見ているのか

- ・学科の選択幅が広く、多様な進路に対応できるなど学校の特色が明確である。
- ・部活動は、小さい学校だと強くなりやすく、なかなかモチベーションが上がらないが、大きな学校となり部活動にも積極的に取り組める。
- ・生活面もしっかりしており、落ち着いて学業も部活動も頑張っている。
- ・ものづくり中心に工業系の専門科目について丁寧に指導してもらっている。

○中学生は新高校をどのように見ているのか

- ・生徒は、メリハリがあり、きちんと挨拶ができ、服装もしっかりしているという印象を持っている。
- ・普通科に行く子は進学したいと思い、職業科へ行く子は部活動をやりながら頑張ろうと思っている。
- ・専門学科の実習が充実していると思っている。

○保護者は新高校をどのように見ているのか

- ・部活動も一層活性化し、就職も有利なので、安心して進学させられると思っている保護者が多い。
- ・再編統合によって学校全体が活気づいているという印象をもっているようだ。
- ・部活動でも学習と両立するように指導してくれる学校だと思っている。

5 新高校長の意見(5校)

- ・生徒同士が切磋琢磨できる教育環境の下で教育力の向上を図ることが、5校とも見事に成し遂げられている。
- ・学校のこれまでの伝統を引き継ぎ、よいところを伸ばしていくという点で計画はうまくいっている。それぞれの学校のよかった点を生かしていくというところで成功している。
- ・再編した2つの学校の力を合わせて活性化している。
- ・部活動については非常に活性化している。この活性化が、生徒の生活面における向上にもつながっている。
- ・地域と連携した学習や、地域行事への参加、ボランティア活動など、地域の方々に受け入れられている活動が数多くあり、地域への貢献度も高い。
- ・総合選択制の活用など、様々な努力により生徒達の学習意欲は向上している。